

新高退通信 No.136

HP : shin-koutai.jimdo.com

mail : shin.koutai@gmail.com

新潟 高教組

発行所 / 新潟県高等学校教職員組合 / 新潟市中央区川岸町2-11 / TEL (265) 4151 / FAX (231) 1036 / 1部10円 (購読料は組合費に包含)

発行人 吉田 裕史

2020年6月1日
号外

新潟県高等学校
退職者の会

事務局
〒951-8133
新潟市中央区川岸町2-11-4
(高校会館内)

退職者の会専用電話
025-265-1110



2019地域探訪・牟礼宿の江戸金沢道中堺碑前にて

※ 新型コロナウイルスに対する本部活動全般についての対応は、議案をご確認ください。

支部活動報告

「活発な同好会活動など」

上越支部

◎はじめに

2008年、かねてより懸案の高田と直江津の両支部が合併して、「上越支部(会員240名うち女性28名)」が発足しました。

旧支部での各行事を集約し、新支部の3本柱として、一般にも公開して見識を深める「学習会」、周辺地域を訪ね見聞を広める「地域探訪」、会員の親睦を図る「忘年会」が、担当係の創意工夫により実施され、好評を博しています。

また、年2回の「支部だより」の発行で情報の共有を図り、会員相互の連携やきずなを強め、さらに、4つの「同好会」では、有志を中心に活動がなされています。

これらの支部活動に、役員9名と幹事14名が役割を分担し協力して取



2019支部総会の参加者

り組んでいるところですが、その内容を以下に紹介します。

(支部長 久保野清和)

◎支部総会

2019年度の総会は6月22日、高田の高陽荘で開催され、会員166名中28名が参加した。10年前は224名中66名で、参加者の減少が目立つ。

会員減少に比例して支部会計も厳しく、19年度予算は66万円と、10年前の93万円に比べかなりの落ち込みである。活動の基本はほぼ同じことから、徐々に赤字が累積し、繰越金を取り崩しながらやり繰りしている。

役員体制は、「支部長・事務局長の任期は2年まで」の原則

を長く堅持してきたが、新会員の激減が影響し、この原則を撤廃せざるを得なくなり、ここ数年、役員顔ぶれはほとんど変わりがない。

総会後の懇親会が楽しみで参加する会員も多く、19年は17名の参加で、10年前の56名に比べて数では大きく見劣りするが、酒を酌み交わしながら旧交を温め、明日への活力を蓄える貴重なひとときになっている。(中島眞皓)

◎学習会

9月に講演会を開催している。8月に会員に参加案内を送付、新潟日報を含め地元3紙に「イベント情報」への掲載を依頼し、一般にも参加を呼びかけている。



2016学習会「宇宙の話しよう」



2016忘年会
板倉ふしんの里「やすらぎ荘」

◎忘年会

11月に、上越周辺の「松之山・能生柵口・魚沼大湯・信州野沢」などの温泉を会場に宿泊で行なってきたが、年を追うごとに参加者が減り、近年は10名にまで落ち込んだことから日帰りに変更して、18年は「赤倉観光ホテル」、19年は

「燕ハイランドロッジ」で実施したところ、わずかずつ参加者が増えてつつある。

同じく懇親会でも、温泉での忘年会は格別で、仲間同士が思い出話や今の暮らし、世相への思いを気軽に語り合い、酌み交わし、まさに命の洗濯の場になっている。その意義からいえば、従前のように宿泊実施が最善なの言うまでもなく、工夫を凝らしながら続けていきたい。(滝澤文夫)

◎同好会活動

高田の「老人憩いの家 磯野園」で年4回の例会を行い、現職時から切磋琢磨してきた囲碁仲間と今も楽しんでる。

当会のレベルは高く、県大会や北陸大会では優勝者を輩出し、全国大会にも出場している。10年前の会員が20名、例会参加者は8名、10名で、高齢化に伴い、現会員14名、例会参加は4名にまで落ち込んでいる。

かつては弁当を食べながら午後3時ころまで打っていたが、今は午前中での散会が多く、寂しいかぎりである。幹事の荒井一郎さんに会の世話係をお願いしている

◎地域探訪

地域の名所旧跡など、歴史・文化・生活・地勢などに関わるさまざまな分野からテーマを設定し、10月に実施している。

近年の実施事例は、「大潟水と森公園と五胡を巡る」「信越トレイル関田峠周辺を歩く」「糸魚川ジオパーク・フォッサマグナを探る」「関川水系水源地、野尻湖・笹ヶ峰ダムを訪ねる」「高田ゆかりの瞽女宿を巡る」「直江津の義人・福永十三郎翁に学ぶ」「信濃の北國街道を巡り新蕎麦を味わう」など。

ふだん何げなく暮らす地域でも、目を凝らせば、未知のことを多く学ぶことができる。地域探訪は、貴重な文化財、地域の豊かな自然、人と人との心通う街作りなど、先人たちの遺産を後世につなぐために、現地へ足を運び学ぶことがいかに大切かを教えてくれるとてもよい機会である。(岡本信隆 深石澄夫)

るとともに、懇親会も、会員相互の近況を語り合うよい機会となっている。

会員の参加者は平均20人余、高齢化によるものか、類似の催しも多いからか、最近では20人に届かず、人集めに苦労している。一般の方々が多いときには15人を超え、演題や講師の知名度により大きく左右される人数だが、いずれにしても、知識欲旺盛な高齢者には頭が下がる。(森田浩栄)

◎囲碁同好会

高田の「老人憩いの家 磯野園」で年4回の例会を行い、現職時から切磋琢磨してきた囲碁仲間と今も楽しんでる。

当会のレベルは高く、県大会や北陸大会では優勝者を輩出し、全国大会にも出場している。10年前の会員が20名、例会参加者は8名、10名で、高齢化に伴い、現会員14名、例会参加は4名にまで落ち込んでいる。

かつては弁当を食べながら午後3時ころまで打っていたが、今は午前中での散会が多く、寂しいかぎりである。幹事の荒井一郎さんに会の世話係をお願いしている

が、参加者の激減でさぞつらい思いをされていることと拝察する。趣味の会という性質上、また高齢化で多くの参加が見込まれない今、会のあり方を検討する時期にきているのかもしれない。

最後に駄作ながら、囲碁川柳を一句。

歩きたい 喜怒哀楽の 十九路

(イッチーこと市川昭雄)

古文書同好会(紙魚の会)

1991年に、直江津・高田両支部合同で、紙魚のように親しむ古文書同好会として発足した。

この地は、春日山城・福島城・高田城と、16〜19世紀の約40年間、城を中心に豊かな海と平野に囲まれ栄え、この間、時の権力者や一般庶民を含め多くの事件が起き、大地震、大火、豪雪などの災害も重なり、その関連古文書が多く残されてきた。そんな過去の事実をより深く知りたいと発足したのが当会であり、使われる資料は、高田・直江津周辺の町や村に現存する江戸中後期のものである。

2016年、活動拠点の直江津公民館の閉鎖に伴い、講師、会場とも当会独自でなく他団体が開催するものに頼らざるを得ず、現在

は、「直江津古文書の会」で月1回、「高田和親会古文書教室」で月2回、当会員11名がほぼ常時参加している。直江津では、輪番での古文書解説に取り組み、高田では、上越市立歴史博物館副館長を講師に、高田城と榊原家に関する古文書を資料に解説を行っている。

(小野寺三隆)

カラオケ同好会「微吟」

当会は創設20年ほどで、会員は現在17名、例会は年2回、高田のカラオケ店で実施している。

事前の準備として、参加者から課題曲3曲の選定と、ランチメニューの注文を受け、当日、昼食とお酒を楽しみながらまずは課題曲を披露。「古城」「湯の町エレジー」「あ、上野駅」「踊り子」「なみだ船」「北の旅人」「うそ」「青葉城恋唄」「昴」「黄昏のビギン」「酒よ」「旅人よ」「サライ」「赤色エレジー」などを熱唱しつつほろ酔い気分の歌手に変身…。

その後、政権批判、血圧や薬のことなど、さすが高齢者という話題に興じながら自由曲に移るが、実はここからが本番で、懐メロ・抒情歌・フォークなど多岐にわたる曲が続く…。

さて、カラオケは心肺機能を高め、口腔内筋肉を鍛えるので、誤嚥による肺炎防止になり、ボケも防ぐとか。最後は皆で肩組み合つて「誰か故郷を想わざる」を斉唱するのが慣例。ちなみに、当会の愛称を「微吟(ビギン)」と洒落てみたが、会員の同意を得るのは次期例会で。

(岩嶋 馨)

ハイキング同好会

2006年、高田・直江津支部合同で発足した。年3〜4回、上越近郊を中心に、時には近県で泊を伴い、各地の名所旧跡を訪ね、伝統行事を堪能してきた。住み慣れた上越でも新発見があり、毎回新鮮な感動を覚えたものである。下見はほとんどせずにつけ本番が多く、地域に詳しい会員などの案内であちこち訪ね回った。

移動にはできるだけ公共交通機関を利用したものの、車に分乗して行うこともあり、天候により中止もあったが、好天時には気分も爽快で、生きている喜びを実感できた。時には温泉で疲れを癒し、終了後の反省会も大いに盛り上がったものである。

これまでの活動を紹介すると、「紅葉の苗名の滝と池の平」「旗持

山と米山海岸の散策」「糸魚川けんか祭り」と市内散策」「新緑の松代・松之山巡り」「川中島古戦場巡り」などで、懐かしさがよみがえってくる。(中島眞皓)

◎支部だより

当初、編集委員6名で7月・12月・3月と年3回を発行、7月号は、総会報告・新会員のことばなど、12月号は、3大行事(学習会・地域探訪・忘年会)や同好会の活動報告など、3月号は、教育懇談会報告と会員の随想文などが主な内容であった。

2014年ころからは、委員4名で年2回となったが、表紙の写真や絵柄をカラー印刷で飾った。また、17年には、上越支部創立10周年記念号として、歴代支部長の在任当時の支部状況や思い出を懐かしい写真とともに掲載した。かつては業者に任せていた印刷を、コピー機の性能向上や会計の逼迫から担当者による印刷製本に切り替え、現在25号まで続いている。

支部だよりは、会員に支部の様子を伝えるだけでなく、長年の取り組みを記録し蓄積する大切な役割を担う。今後とも会員の

みなさんのご協力ですらによいものを作っていきたい。
(吉岡春夫)

◎あとがき

他支部と同じく当支部でも、現職組合員の激減や再任用制度の導入などにより、新入会員が年に1〜2名となっています。会員減による問題点は、①会員の高齢化②役員の固定化③行事参加者の減少などで、支部活動全般の停滞につながることで、新会員確保のために役員が鋭意、勧誘活動に努めています。十分な成果が得られていません。

そこで、思うことは、再任用制度が足かせになっていることから、例えば、入会前でも支部だよりを届けるなど、再任用者とながりを保ち、いわば「完全退職後」にスムーズに入会しやすい有効な対策を講じる必要があるということ。この組織の存亡にかかわるとの認識をさらに強く持ち、今こそ全会員が英知を結集すべきだと考えます。

(副支部長 浅野寿一)

退職後の10年の生活と遠くへ

寄稿をお願いした会員の退職年度は、第45回衆院選で、民主党が過半数を大きく上回る308議席を得て圧勝した年。民主党、国民新党と連立政権樹立で合意、民主党の鳩山由紀夫が第93代の首相に選出され、3党連立の鳩山内閣が発足した年にあたる。

その後、民主党は政権を失い、歴代最悪の総理と言われる、無知無恥無能の安倍晋三が日本の舵取りを行うことになる。退職後の10年はまさにこの悪夢の10年間と重なる。

かつて描いた生活とはほど遠く

上越支部 佐藤重男(09)



退職後の生活を、私は次のように思い描いていました。①現

職時から趣味としてきた畑の野菜作りを充実させる。②50歳から始めたロードレースの出場を80歳まで続ける。③各地のロードレースに出ながら、妻や愛犬と車で全国を旅する。

さて、この10年の間に私の周辺

では、母と兄の死、初代愛犬との別れ、そして、娘の結婚・孫の誕生と続き、さらには、養父母の介護と看取り、2代愛犬の病氣療養健康に関し、椎間板ヘルニアで走ることにドクターストップがかかるといふ大きな衝撃もありました。

結果として、私のおもわくはことごとく外れ、現況は以下のようなです。①野菜作りは、充実どころか6年前にやめざるを得なくなつた。②ロードレースは、5年ほど前の出場が最後になっている。③愛犬の介護が思いのほか難儀で、夫婦で出かけることが難しくなつた。

こうして、かつて描いた生活とはほど遠くなったものの、せめてあと10年はボケずに、家族との気ままな旅行を年に数回は楽しみたいけれど、新型コロナウイルスの影響で、さてどうなりますやら。それにつけても、いま憂うべき

は、昨今の国や社会のかたちの激

変ぶりです。「忖度症候群」に冒された政治家や官僚の劣化が招いた権力の専横により日本国憲法の3原則である国民主権も基本的人権も平和主義も、そして民主主義までもが危ういものとなつています。これでもしも憲法改悪となれば、近い将来、日本が戦争に巻き込まれる可能性が増大することは必至です。

そんな流れを何としても押しとどめ、子や孫たちが平和で幸せに暮らせる社会の再生をめざし、まずは安倍最悪政治を終わらせ、再びの政権交代を実現させる取り組みに、自らの非力を自覚しつつも微力ながら努めたいと思います。

採用2年目の旅と退職10年目の旅

新潟支部 松月裕子(09)



新採用は佐渡女子高の家庭科です。全日制被服科の専門科目

を担当する実力もないのに更に上級の短大に準ずる専攻科「服装史」を持つことになっていました。1単位で半年は日本編、もう半年は西洋編です。指導書も教科書もなく薄い副読本があるのみ。西洋編は古代エジプト文明から始まり古代ギリシャ(エーゲ海文明も)、古代ローマ、そしてビザンチンへと続きます。

歴史の素養が全く身につけていない私の前に、向学心にあふれた真面目な女学生が座っているのです。私は悪戦苦闘だったけど、さぞ退屈な授業だったでしょう。2年目の春ある新聞の片隅に「古代史跡を訪ねる旅」のツアー募集広告を見つけました。8月の2週間でエジプト、ギリシャ(クレタ島も)、トルコを巡るものでした。授業の足しになると思い後先を考えずに申し込みました。主要な観光地には、神殿、寺院などの歴史的建造物、壁画、彫刻、絵画、大きな壺の図柄、装飾品などを収めたスライドが売られていました。他の土産には目もくれず可能な限り購入しました。授業でのスライド上映はメリハリがついて、もて余していた時間を少しは短縮できました。

さてそれから30数年後、中・高時代の友人との交流が復活し、国内旅行を2人で楽しむようになりました。10年以上続いた頃海外はどうかということになり古代ローマのコロッセウムが見たくて昨秋イタリアツアーに参加しました。全土がまさに世界遺産ばかりで偉大な芸術があふれる国でした。ミラノの教会の中、薄暗い食堂の壁画「最後の晩餐」の前に立ち弟子達の衣服を見たとき、トীগの進化形かなと一瞬思い浮かんだのですがすぐに忘れましました。どこへ行っても満員電車のような混雑でスリに気をつけようと緊張したりしたので帰宅後は疲労感ばかりが残った古稀の旅でした。

あっといふ間の10年

佐渡支部 高橋直子(09)



この10年を振り返ってみますと、退職してもない頃は、用品の処分でクリーンセンター通

い、「お金を貯めないでごみを貯めた」と反省しました。次は上京する口実の製菓専門学校のスクーリング通い、さりげなくもしたたかな中央線の座席争奪戦やエキナ

カでのコーヒータイム、楽しいひと時でした。「これからの人生には関係ない」と思いながら、製菓衛生や保育士、総菜管理士の講習や試験も経験しました。

また、今春まで母校で非常勤講師を勤めていました。社会の変化はもとより、電子黒板利用や机を合わせての話し合い等々授業の様子も大きく変わる中で「ピンチヒッターは今年だけ」と思いながらここまで来てしまいました。お役に立ったかどうかわかりませんが、自分にとっては、脳トレと無意識の歩数増加に役立ったのではないかと思っています。

あっといふ間の10年でした。歳を重ねて時間を短く感じるのは「感動することが少なくなるから!」(チョコちゃん)。「感動」は難しくても、ナンプレとウォーキングを始めようと思うこの頃です。

10年で何をじたのだったろう

上越支部 小林一利(09)



人に語るほどの事をしたのかと問えば、少し心が痛む。持病

の眼疾が進み、一層見えにくくなったため、買いためた書物は積ん

だまま。耳は聞こえるので、AVを充実させようと、念願のスピーカーをタンノイにした。旧型のフルレンジは姿を消し、デュアルタ イプの2ウェイトルボーイにはめんくらったが、マア満足する音だ。アンプはパイオニア、CD・MDプレイヤーとアナログプレーヤーはオンキヨー。これをグレー ドアップするのは10年先の課題だ。

何でも聞くがクラシックはヘンデル、ジャズはコーレーン、和物はアイドルの楽曲、日向坂とかひらがなけやきとか。大河ドラマや朝ドラの楽曲もよく聞く。

日々、平穩に過ごすことを心がけ、番が来るのを待っている。

どのように生き、死ぬのかと考える。近くは、親のあり方が参考になる。退職してから親を送ったので考える余裕があり、今までのこと、これからのこといろいろ考えた。特に、これからはできる事は限られているのだから、特に目標を設けず追わず拒まずの態勢で行こうと思っている。

支部活動の概要

2019年4月～2020年3月

項目 支部	総会・学習会	現職支部との教育懇談会	同好会活動以外の旅行 ・研修、交流等の活動	同好会	支部だより
新潟	■総会(6/18) クロスパル新潟29人 ■学習会 なし	■提起「退職して見える 学校の実態」(会員より) ■懇親会(2/28) 会員6人、現職15人		■カラオケ同好会 16人 ■写真倶楽部「写游」 11人 ・撮影旅行(春、夏、秋) ■山歩きの会 17人 ・三本槍山、西吾妻山、 新年登山、忘年登山 ■テニス同好会 9人	4回 (6/1、9/6、 12/6、3/9)
・新 村 上 田	■総会(6/27) 北辰館18人 ■学習会 なし	■テーマ「働き方改革」 ■交流会(2/21) 会員8人現職4人	■支部旅行「旧下田村 訪問」(10/17) 19人	■囲碁同好会 5人 ■古文書研究会 5人 ■マージャンを楽しむ会 5人	2回 (6/30、12/27)
新 津	■総会(6/15) 飛鳥9人 ■学習会 なし	■「特殊詐欺について」 ■交流会(2/14) 会員7人現職16人	■忘年会(12/5)	■どんぐりの会14人 ・山菜とソバの集い (5/15) 11人 ・紅葉狩りと芋煮の集い (10/28) 13人 ・雪ごさきの集い(2/14) 9人	4回 (6/1、9/1、 12/4、3/4)
三 条 ・ 加 茂	■総会(6/7) 饒心亭おゝ乃19人 ■学習会 なし	■情報交換(2/21) 会員6人現職10人	■囲碁大会(8/23) 4人	■日帰り旅行を楽しむ会 12人 ・六万騎山(4/12) 11人 ・谷川岳天神平(10/18) 9人	4回 (6/1、9/1、 12/1、3/1)
長 岡	■総会(6/20) アトリウム長岡24人 ■学習会「豊かな老いを 求めて」講師・長井秀子 さん(会員)	■新春交流会と合同開催 (1/20) 会員7人現職2人	■支部旅行「吹割の滝、 わたらせ渓谷鉄道、高 津戸峡」(10/24) 8人 ■酒蔵見学「高の井酒 造<小千谷>」(2/13) 9人 ■新春交流会(1/20) 7人	■家庭菜園同好会 12人	2回 (7/10、12/10)
魚 沼	■総会(6/10) 小千谷ホテルプラザ片山 17人 ■学習会(6/10) コンサート「チェロと電 子ピアノ」 47人(市民30人)	■高教組と新高退の活動 報告(3/18) 会員6人現職15人	■囲碁大会(8/1) 会員5人と他数人 ■新年会(2/5) 12人	■囲碁同好会 5人	1回 (9/1)
柏 崎	■総会(7/6) ニュー新橋21人 ■学習会 なし	■問題提起・石川多加子 (金沢大) ■交流会(3/13) 会員2人現職11人	■旅行「富山(YKK/ 海王丸パーク/高岡大 仏)」(10/4) 9人	■ハイキング同好会 9人 ・長岡市内資料館巡り/ 大河津分水/直江津五 智など	3回 (6/10、9/9、 12/9)
上 越	■総会(6/22) 高陽荘28人 ■学習会「時を縮めた男 前島密」講師・顕彰会会 員(9/9) 32人(うち会員16人)	■テーマ「給与削減・勤 務時間・教育課程見直し 課題など」(2/8) 会員5人現職9人	■地域探訪「関山～信 濃の北国街道を訪ね て」(10/7) 15人 ■忘年会「日帰り 燕 ハイランドロッジで入 浴とランチ」(11/18) 13人	■カラオケ同好会 17人 ■囲碁同好会 12人 ■古文書同好会(紙魚の 会) 10人	3回 (6/17、8/5、 12/11)
佐 渡	■総会(6/21) 浦島15人 ■学習会「泉地区名所探 訪」案内 地元歴史家 北 見継仁氏(11/7) 12人	■地域における教育問題 や組織をめぐる諸問題等 の意見交換(12/3) 会員5人現職7人		■登山同好会 9人 ・春の登山、秋の登山 ■釣り同好会 10人 ・春の釣り大会、秋の釣 り大会 ■佐渡の食を知る会10人 ・佐渡の食材料理	4回 (6/7、9/10、 12/7、3/11)

2020新高教の課題

新高教執行委員長 吉田 裕史



5月12日現在、世界で400万人が感染し死者も27

万人に達する感染爆発を引き起こした新型コロナウイルスは、2008年のリーマンショックを上回る影響を与えています。都市封鎖や外出自粛でも終息を見せず、院内感染などから医療従事者の死亡も増加しています。マスクやガウンの不足、重症患者の治療に命の選別まで行わざるを得ない医療現場の実態が連日報道されてきました。

日本政府も東京オリンピックを1年間延期することを決断しましたが、検査態勢の遅れや初動対応が不十分だったことから、東京を中心に感染者が急増し、経路を追跡できない感染者の増加などから、4月に入り緊急事態が宣言されました。それに従い県立高校の休校や他県との往来自粛が5月末まで継続されました。部活動の大会も地区大会、県総体、インターハイ、全国高校総合文化祭が中止となりました。

本県教育委員会は3月2日から一斉に臨時休校に入った後で

4月6日学校を再開しましたが、1週間後の4月13日には再度の休校を決定しています。卒業式も在校生は参加せず卒業生と保護者のみの参加で行うこと、在校生の終業式や離任式は実施しないこと、新学年の準備は分散して登校させるなど3月の現場状況を集約して、要求書を立て続けに出しながら県教委の対応を求めてきました。授業がないことから非常勤講師の勤務の扱いが課題となり、現場からも不安の声が多く本部に届きました。他県の状況や文科省の通知では教材準備等を業務と見なすこととしていたことから県教委に4月分の報酬を認めさせました。併せて時差出勤、在宅勤務等の服務に関する整理を確認しました。そして5月6日までとされていた休校が5月末まで延長されました。40人クラスそのものが密であること、全県1学区にしたことから電車などの通学で感染する危険が高いことなどが再休校の理由とされました。再開のイメージや

学習評価の基準など整理しながら、子どもたちの学習を保障していかねばなりません。新教連交渉や高教組交渉で県当局を追及するとともに、県議会、市町村議会議員との連携を図っていきます。バブル崩壊から長期不況に陥った日本は小泉構造改革で官から民への構造改革を進め、保健所等もかつての半数になっています。保健所、病院や介護施設が必要な人材を確保し体制を維持していけるように、地公労交渉でも要求していかなければなりません。リーマンショック時に「派遣切り」が社会問題となりました。非正規労働者の比率は40%に達しようとしています。そして今回の感染症の世界的な拡大により、最も苦しい状況に置かれているのがパートや派遣、臨時の方々です。アルバイトがなくなり生活困窮している学生への支援も議論されています。求人への減少や大学入試・高校入試など今後の課題も山積しています。未曾有の危機に労働組合があるからこそ前に進んでいけると確信して、新高教70年の節目の年に新たな決意をもって臨んでいきたいと思えます。

高校退職者のみなさんからご支援いただきたくお願いします。

新高教第24期 本部執行委員会

執行委員長	吉田裕史	離籍
執行副委員長	遠藤 丞	離籍
書記長	浅川智之	三条東
書記次長	佐藤正成	巻総合
執行委員	高見砂織	新潟向陽
(支部書記長)	小川貴史	新潟西
	増子一彦	荒川
	桂山祐子	五泉
	松尾和浩	新潟県央工業
	長谷川善明	見附
	駒井哲郎	八海
	中村直樹	出雲崎
	山林 満	高田安塚分校
	石井一行	羽茂
会計監査	荻間貴志	新潟北
	佐々木尚子	長岡商業
	薄木裕之	佐渡相川分校

分校・定時制時代(リレートーク/5)

「刈谷田川のせせらぎと守門岳の雄姿と
忘れられない生徒たちと栃尾の人々」

(栃尾高校定時制昼間部の思い出)



丸山睦実 (96) 新津支部

コロナウィルス旋風の収束を祈る毎日です。現在75歳、介護のため52歳で早期退職して23年の私ですが、当時の思い出を振り返ってみたいと思います。(といつても、最近、記憶力が落ちているから、どこまで振り返られるか、自信はありませんが。)

1967年の4月、おもちゃのような栃鉄の電車に乗車して、私は栃尾高校定時制昼間部の国語の教諭として採用され、赴任しました。4月というのに、校庭には残雪があり印象的でした。

豪雪地帯の栃尾は、冬の通勤が大変なのですが、長岡・三条などから通勤の先生も、電車やバスで。マイカー通勤は少数派でした。学校では、大風呂敷の中にいっぱいの本を入れてかっぴいで持ってきて、教務室で店開きの本屋さんなども。

定時制昼間部は1学年3クラス

でしたが、2部にわかれていて、ほとんど、織維工場の2交代の女工さんが、働きながら学んでいました。教員の勤務も、今週は8時30分から、次週は10時30分からの出勤と2交代勤務。校舎は、ほとんど教室と教務室主体の手狭な所。後に全日制のある所に移転しました。

国語科の教員は昼間部2名と夜間部1名の3名でしたが、時間が合わず、教えてもらうのも一苦労したものです。そのうえ、私は教科外の日本史を夜間部へ行って教えることや、週1回は上塩谷分校へ出張授業をすることに。雪のない季節は、先輩の先生の車に乗せてもらって。冬になると、雪道を歩いて1時間余の分校通い。分校の生徒の笑顔に救われました。

まさか教科外の日本史を教えることになると思わず、参考書を頼りに、授業準備に追われる日々

でした。生徒たちの素材で明るい態度や先輩の先生方に助けられ、無我夢中でした。

部活は昼間部の生徒は午後登校時のみ。バレー部の顧問になったものの、運動オンチで指導もできず困惑。先輩のアドバイスで、毎日活動を見守ることで、生徒はメキメキ上手になり、対外試合では初勝利。生徒と共に喜んだものでした。

土地柄、豪雪地帯ですから、大家さんの御主人は昼間の仕事を夕食後一休みして、雪下ろしの日々。天井ではミシミシとその音が。

朝は「朝茶を飲まない」と蛇にのまれる。」と内職の仕事をかかえたおばさんとお茶飲み。町を歩けば、「お茶飲んでいって。」と声がかかる。

組合の加入は職場の兄貴の先輩の勧誘で、試用期間終了後、新任の数名と加入。10月26日の早朝1時間の実力行使には、色々のことに無知で恐る恐る参加。8・28水害の救

援活動、「新潟県高校白書」の刊行。宿・日直拒否闘争、不当配転問題など。上塩谷分校の廃止、定時制の縮小など、私にとって大問題ばかりでした。

「みんな違って、みんないい。」という詩人金子みすずの言葉が、胸に響いたものですし、石川達三の「人間の壁」の文庫本も、何度も読んで、黒ずみ、茶色のしみ。時の流れを感じます。

昭和46年、育児休暇の申し入れ。勤評特昇の動き阻止、安保重延長反対など組合活動は、その激しさは増すばかり、とうとう1977年「主任制阻止」のため廊下の座り込みに参加し、帰った後で、機動隊突入による逮捕者が出たことは、申し訳なく思いましたし、他のやり方も考えるべきではと思ったりしたものです。



当時の筆者

色んな運動がありました。個人的には女性部一丸となつて、ようやく1976年育児休業制度施行にこぎつけたことが、一番の喜びです。参考資料「新潟高教組30年の歩み」

告知

栃木旅行の延期について

新型コロナウイルスの感染拡大は先を見通すことができません。3月に栃木旅行の計画を配付し、複数の方から参加申込書もいただきましたが、会員の安全確保とウイルス拡散防止のため、表記旅行は来年度以降に延期します。

『活動日誌』・点描

■10・21国際反戦デー集会、弁天公園で開催、万代橋詰までデモ
■新高教70周年記念事業実行委員会(11月2日) ■事務局会議・通信編集会議(11月13日) ■囲碁全国大会(11月14・15日) ■事務局会議・通信編集会議(11月20日) ■初校 ■事務局会議・通信編集会議(11月27日) 再校 ■通信No.1 35発送・事務局会議(12月4日)、役員推薦委員の選出要請
■県退職者連合幹事会(12月12日) ■講演「帰国事業60年を考へ

る」これからの日朝友好に向けて(12月13日) 主催・日朝友好新潟県連合会、講師・朴正鎮さん(津田塾大教授) ■映像と講演「ドローンで見る沖縄」(12月15日) ■事務局会議(12月18日) ■高校生平和大使活動に2万円カンパ(12月27日) ■事務局会議(1月8日) ■事務局会議(1月15日) 日退教闘争カンパ5万円を送金 ■新高教新春のつどい(1月17日) ■事務局会議・サポート会議(1月20日) 2020年度の活動検討 ■「核兵器廃絶1000万署名」163筆を日退教に送付(1月31日) ■日韓市民連帯講演会(1月31日) 講演「東北アジアの平和構想をめざして」講師・金民雄さん(慶照大教授)
■事務局会議・サポート会議(2月3日) 旅行、懇親会、版画教室計画 ■講演会「日本の教育の今と未来」講師・前川喜平さん(2月11日) ■事務局会議(2月12日) 支部宛てに活動報告提出等要請 ■安倍9条改憲NO! 「全国緊急署名」県スタート集会(2月15日) ■第43回北陸ブロック代表者会(2月26日) ■「新高退文書配付」発送・事務局会議(3月4日)、定年退職者に「加入の呼

びかけ」を郵送 ■事務局会議(3月25日) 退職者激励会中止 ■事務局会議(4月1日) ■新高教70周年実行委員会(4月4日) 式典を7月18日に延期 ■「新型コロナウイルスに対する対応について」を支部に送付(4月21日) ■会計監査(5月7日) (石野)

編集☆後☆記

支部同好会活動報告は今回が6支部目の上越支部、支部を生かすために学習会、地域探訪、同好会活動と積極的に活動を行っていることが分かる。今回は新発田・村上支部にお願いする予定。
「2020新高教の課題」は、今年の内容を変更して、新型コロナウイルス発生によって混乱を来した学校現場や生徒の状況を、教職員の勤務の観点、学習評価や子どもたちの学習権の観点から取り組んだ報告である。

「分校・定時制時代」の5回目は新津支部の丸山さん、初任の定時制で頼る教員も少ない中、必死に「先生」になる努力をした姿が伝わる。また、試用期間終了直後に加入した高教組での活動は、今で

も活発に活動に参加する丸山さんの姿に至る。(内山)

ご冥福をお祈りします

(括弧内は現職退職年度)

2019年

佐々木 茂 さん(84)

大井 峰雄 さん(13)

2020年

饒村 範仁 さん(01)

高山 弘 さん(00)

遠藤 貞男 さん(99)

溝口正太郎 さん(86)

河内 宏嘉 さん(87)

春日不二夫 さん(88)

大谷 昂 さん(92)

(柏崎支部) 5・5

(柏崎支部) 4・14

(上越支部) 3・25

(長岡支部) 3・21

(長岡支部) 2・2

(新潟支部) 1・28

(上越支部) 1・20

(新津支部) 10・20

(佐渡支部) 8・3

地建設阻止・沖縄米軍基地撤去、安倍政権下で制定された戦争法・「共謀罪」法・高プロ制度・「カジノ法」などの諸悪法・制度撤廃、安倍内閣退陣要求などの運動に取り組みます。

- (3) 会員の連帯と親睦、交流を深める方策を絶えず検討しながら、新高退の活動に取り組みます。
- (4) 財政的に厳しい現状を踏まえ、会費収入に見合った活動を基本に、財政の自立に向けた取り組みを継続します。

3. 諸要求の実現・課題解決の取り組み

3-1 年金・医療制度などの福祉政策

すべての高齢者が安心して暮らせる生活の実現に向けて日本退職教職員協議会（日退教）、日本高齢・退職者団体連合、新潟県退職者連合などと連携して取り組みます。

3-2 脱原発・クリーンエネルギー社会の実現

- (1) 再稼働した原発も含め、稼働を止め廃炉にし、新增設を行わず自然エネルギー政策を基本とした社会の実現を目指して取り組みます。
- (2) 柏崎刈羽原子力発電所運転差し止め訴訟に参加し、情宣活動等の支援を行います。

3-3 平和と民主主義を守る取り組み

- (1) 違憲の戦争法や「共謀罪」法の実働化に反対するとともに、廃止に向けた諸行動に取り組みます。
- (2) 「3000万署名」を生かす取り組みとともに、改憲策動阻止に取り組みます。
- (3) 教育に対する不当な介入を許さず、47教育基本法の理念を生かす取り組みを行います。

4. 組織の拡大・強化に向けた取り組み

- (1) 要求実現に向け、新高教・日退教とともに組織の拡大・強化に取り組みます。
- (2) 現退一致により、組織をあげて新会員の加入に取り組みます。また、再任用終了者を中心に過年度退職者加入に取り組みます。
- (3) 組織全体で親睦と交流を深め、退会者を出さない活動を強化します。
- (4) 支部活動に対しては、年度当初には会員数に応ずる補助、年度末には活動実績（学習会、支部だより、同好会）に応ずる補助を行います。
- (5) 全県、支部の枠を超えた複数支部を対象にした同好会的活動に補助を行います。

5. 学習・親睦・交流のとりくみについて

いったん計画した以下ア～ウの本部（サポートG）企画は全て中止か延期とします。

- ア. 栃木旅行 7月15日～16日で計画
「日光東照宮観光と翌日は班別行動を楽しむ旅」
- イ. 「寺泊de懇親会・2日目は自由行動」
10月21日～22日で計画
- ウ. 版画教室 10/5から4回で計画

6. 情宣活動

『新高退通信』を年3回（6・9・12月）発行します。3月は『通信』同様の配付方法で文書配付（3/1）を行います。引き続き読みやすく、親しみのある紙面づくりに努めます。

支部間の公平化を図ることを基本に従来の郵送分切手支給（新高教負担）を、定率補助金支給（新高退負担）に変更します。

2020年度は会員数×63円×4回分×50%、100円未満切り捨てとし、さらに2020年度に限り、コロナ対策として予備費から残りの50%も支給します。

7. 支部活動の強化と充実

- (1) 「支部だより」の交換や近接支部との交流を行い、他支部とともに活動の活性化に努めます。
- (2) 加入の取り組みについては、支部全体で組織的に取り組みます。また、現職支部と連携して取り組みます。
- (3) 地域退職者連合活動に積極的に参加します。

8. 国政選挙・自治体選挙について

年度中に行われる諸選挙については、基本的には新高教の方針に基づき現退一致で取り組みます。候補者に社民党候補がいる場合には、新高教推薦候補の他、社民党候補も推薦対象とします。

第2号議案

2020年度予算（案）

L7ページに掲載しています。

その他の報告

新高退規約第6条1に規定がある役員推薦委員会の委員が選出されましたので報告します。

任期は2021年度定期大会までとなります。

地区	支部	氏名	役職
下越地区	新発田・村上支部	小林達朗	支部事務局長
中越地区	魚沼支部	滝沢直行	支部事務局長
上越地区	上越支部	佐藤重男	支部事務局長

の掲載で4回となりました。

ウ。「電力会社を変えてみた」は、編集長自らの経験を寄稿したもので会員の反応が期待されます。【通信No.135】

- (5) 会員名簿(2019年度版・紙端索引付)を9月1日付で作成、今回から希望者に販売しました。

2-5 囲碁大会【通信No.135】

生きがい支援協会の補助終了で全国大会、北プロ大会は最後の開催となりました。

- (1) 2019年度(第27回)新高退囲碁大会(兼県退職教職員囲碁大会<高校の部>)

9月5日 高校会館(出場者13人)

※一応の区切りの大会として、参加者有志で五泉市咲花温泉「ホテル丸松」で懇親会を行い、今後、全県的な「囲碁同好会」形の集まりを計画することを決定しました。

- (2) 第11回北陸ブロック囲碁大会

10月4日 富山市・パレブラン高志会館(新高退出者3人)Aクラスで佐野達哉さんが優勝しました。

- (3) 全国囲碁大会

11月14~15日 日本棋院東京本院での最後の大会、北陸ブロックAクラス優勝の佐野達哉さんが出場しました。

2-6 支部活動

- (1) 会員減、新加入者減で高齢化し、支部運営に支障を来していると訴える支部があります。
- (2) 通信の手配り率は、支部の努力により全県平均で65.6%(新高退文書配付2020/3/1)となりました。全支部で50%を超えました。

3. 会計決算報告

L5ページに掲載しています。

4. 会計所見

L6ページに掲載しています。

5. 会計監査報告

L7ページに掲載しています。

第1号議案

2020年度活動方針

1. 情勢

安倍政権は2013年の秘密保護法、2015年の「戦争法」、2017年の「共謀罪」法などの違憲立法、2度に渡る消費税増税、2016年のカジノ法、2018年

の「高プロ制度」の導入などの強行や、沖縄・辺野古新基地建設、森友・加計問題・自衛隊日報の公文書改ざん、原発再稼働などの国民無視の政治を行った。

経済政策では「生産性」や「費用対効果」、「能力主義」を重視したため、「利益を生み出さないものには価値がない」という考えを生み、「意思疎通のできない障害者を養うほど、今の日本に経済的な余裕はない」、「障害者は不幸を作ることしかできない」と主張した犯人により、障害者19人が殺害されるという相模原障害者施設殺傷事件がおこった。

さらに、安倍政権は「桜を見る会」の疑惑やカジノ疑獄、菅原前経産相と河井前法相の2閣僚の選挙法違反問題、自衛隊の中東派遣などの問題を重ねる中、暮らしの安心にほど遠い消費税依存と防衛費膨張、大企業優遇の102兆円の国家予算を決定した。これらの政策は、不安定な非正規労働者を増加させ、社会基盤の弱体と崩壊状態をまねいている。

そのような中、安倍政権は緊急事態宣言発令時に「憲法改正」の国会審議を主張し、発令期間中なのに野党の反対を押し切り内閣の意のままに検事総長の人事ができる検察庁法改正案を審議入りさせるなど国民不在の火事場泥棒的「政治の私物化」の挙に出ている。

このように、新型コロナウイルス感染症が世界中で猛威を振るっているという人類史的危機が、日本では安倍晋三政権という政治の私物化、権力の私物化、改憲暴走政治を繰り返してきた政権の下で発生している。私たちは、この目に見えない感染症の来襲に対して、不当な「自粛」の強要などの社会的な同調圧力や平和と人権、民主主義の価値を擁護し、たたかってきた勢力の分断を許さず、波が収まったあとの反撃に連帯しよう。

そして萎縮しないようにしよう。解決策は「従うこと、流されること」ことではない。私たちは、コロナ禍のこの課題で声を出し堂々と生存権を主張し、連帯して安倍政権とそれを取り巻く勢力の独裁と闘おう。希望は連帯のなかにこそある。

2. 基本方針

- (1) 退職者が安心して暮らせる年金・医療・介護などの福祉政策や税制、講師採用などの諸要求実現に取り組みます。
- (2) 新高教およびその他の県内外の民主諸団体と連携して、平和憲法・民主教育擁護、原発再稼働・新設反対の脱原発社会の実現、辺野古新基

- 10.10 嫌韓を煽るな！日韓連帯集会
- 10.10 5者合同学習会（東京）
- 10.11 日退教組織活動交流集会（東京）
- 10.16 日韓連帯集会（講師・内田雅敏弁護士）
- 10.21 国際反戦デー集会
- 11.02 新高教70周年記念事業実行委員会
- 11.14 囲碁全国大会（～11.15東京）
- 12.13 講演会（講師・朴正鎮津田塾大教授）
- 12.15 映像と講演「ドローンで見る沖縄」
- 01.17 新高教新春のつどい（旗開き）
- 01.31 日韓市民連帯連続講演会
- 02.11 講演会（講師・前川喜平元文科次官）
- 02.15 安倍9条改憲NO！
「全国緊急署名」県スタート集会
- 02.26 第43回北陸ブロック代表者会（富山市）

- (3) 支部総会
- 06.07 三条・加茂支部
- 06.10 魚沼支部
- 06.15 新津支部
- 06.18 新潟支部
- 06.20 長岡支部
- 06.21 佐渡支部
- 06.22 上越支部
- 06.27 新発田・村上支部
- 07.06 柏崎支部

※詳細は通信No.133～135の
「『活動日誌』・点描」を参照

2. 活動の概要

2-1 組織の現状

- (1) 2018年度末の会員数は男591人、女127人、合計718人から、2019年度末には673人となりました。2019年度に亡くなられた方は15人です。
- (2) 現職の2018年度末組合員退職者は63人（内、定年45人・再任用修了者9人）でした。教育職の再任用期間3年の2年目となりました。新加入者は全員が2018年度末定年退職者の7人（男5人、女2人）でした。
- (3) 2019年度総会は、代議員41人の出席で開催されました。全議案が承認されましたが、参議院選にかかわる政治方針で、新高退として「『社民党中心』の独自方針を」の強い意見があり、会長から趣旨には賛成との表明で検討課題としました。

なお、県委員会は前年の内規改訂により初めて支部1人の委員で開催しました。

2-2 新高教との連携

- (1) 7月の参議院選挙は現退一致で取り組み、新潟選挙区は野党共闘のうち越さくらが当選、全国比例は、組織推薦（日政連）のみずおか俊一が立憲民主党内2位の得票で当選しました。
- (2) 現退交流会は、現職との協力で全支部で開催されました。会員の参加は45人にのぼり、現退合計では140人を超えています。
第43回退職者激励会は、3月31日に新高教・新高退共催で開催の予定でしたが、折からのコロナ禍で急遽中止としました。
- (3) 教育をよくする県民会議には幹事、希望奨学金協会には奨学生選考委員として参加しています。
平和運動センターの取り組み、「高校生平和大使」の新潟県の取り組み、東電・柏崎刈羽原発

運転差止請求訴訟などの活動に参加しました。

2-3 日退教等との連携

- (1) 日退教が中心的に関わる地公退高齢者集会、政治集会、退職者連合高齢者集会、5者合同学習会、組織活動交流集会に参加し、生活擁護・諸要求実現の取り組みを行いました。
- (2) 安倍政権の暴挙が続く沖縄・辺野古新基地建設反対の闘いでは、支援カンパ、沖縄県が取り組む裁判闘争支援の団体署名を行いました。
- (3) 「核兵器廃絶1000万署名」を全支部で取り組み、163筆を集約し日退教に送付しました。
- (4) 県退職者連合の活動に参加し、生活擁護・諸要求実現の取り組みを行いました。
また、地域組織にも各支部が参加して活動の中心を担っています。

2-4 サポートGの活動と「新高退通信」の発行

- (1) 旅行的活動の富山旅行「『黒部峡谷トロッコ電車』に乗車し、翌日は班別行動を楽しむ旅」は7月17～18日に、貸切バス満席となる26人の参加で実施しました。[通信No.134]
- (2) 懇親会的活動は、本部・魚沼支部共同企画として、『湯沢de懇親会』を昨年と同一会場（KKR湯沢ゆきぐに）で、10月23～24日に開催しました。魚沼支部の協力に感謝します。[通信No.135]
- (3) 版画教室は、3年目となりました。昨年同様の4日間で講師の後藤信行さん指導のもと、参加者は大作に挑戦しました。
- (4) 『新高退通信』の発行
ア. No.133(6/1)、No.134(9/1)、No.135(12/1)の3回と、新高退文書配付(3/1)を発行しました。
イ. リレートーク「分校・定時制時代」は月号

新型コロナウイルスに対する対応について

新型コロナウイルスに対する新高退の対応は、通信発行を除いて、活動は全て中止、延期、または課題毎に事務局の個別対応とします。2020年度の議案の審議については、緊急事態を鑑み、議案を例年通り会員に対して配付し、原案の承認は支部に送付した「2020年度議案に対する賛否および質問・意見の報告用紙」の賛否を集約することで行うこととします。結果は支部に対しては直ちに、会員に対しては9月発行の『通信No.137』で報告します。

=====中止、延期または個別対応とする主な活動=====

1. 役員会 (5/13)、県委員会 (6/10)、定期大会・懇親会 (6/24) …中止
2. 栃木旅行「日光東照宮観光と、翌日は班別行動を楽しむ旅」…来年度以降に延期
3. 版画教室 (10月中に4回) …中止
4. 寺泊de懇親会 (10/21~22) …中止
5. 日退教・北ブロ関連の会議 (総会等) …中止
6. 事務局会議 …回数削減、用務毎に事務局員の個別対応

2020年度 新潟県高等学校退職者の会 議案

2019年度経過報告

1. 活動経過
2. 活動の概要
3. 会計決算報告
4. 会計所見
5. 会計監査報告

議案

- 第1号議案 2020年度 活動方針案
 第2号議案 2020年度 予算案

その他の報告

役員推薦委員の選出について

2019年度経過報告

1. 活動経過

- | | |
|---|--|
| <p>(1) 諸活動・サポートGなど</p> <p>04.17 会計監査</p> <p>04.22 新高教・新高退定期協議</p> <p>05.05 役員推薦委員会</p> <p>05.15 役員会 (議案審議他)</p> <p>06.01 通信No.133発行</p> <p>06.12 県委員会</p> <p>06.26 総会・懇親会</p> <p>07.17 富山旅行 (~07.18)
 「黒部峡谷トロッコ電車と班別行動を楽しむ旅」</p> <p>09.01 通信No.134発行</p> <p>09.05 新高退囲碁大会</p> <p>09.11 サポート会議</p> <p>10.07 版画教室 (&10/15,10/21,10/29)</p> <p>10.23 「湯沢de懇親会」 (~10.24)</p> <p>12.01 通信No. 135発行</p> <p>12.25 事務局・サポートG反省会</p> <p>01.20 サポート会議</p> <p>02.03 サポート会議</p> <p>03.01 「新高退文書配付」発行</p> <p>03.31 退職者激励会 (中止)</p> | <p>(2) 新高教・日退教・退職者連合・新退教他</p> <p>04.07 県議選・新潟市議選投票日</p> <p>04.21 統一地方選・市町村議選投票日</p> <p>04.27 第90回新潟県中央メーデー</p> <p>05.03 ピース・フェスティバルinにいがた
 憲法記念日新潟大集会</p> <p>05.24 新退教第47回定期総会</p> <p>05.31 憲法学習会「沖縄からみた憲法・安保・地位
 協定」(講師・前泊博盛沖縄国際大教授)</p> <p>06.07 第48回日退教定期総会</p> <p>06.19 北陸ブロック第43回総会 (~06.20)</p> <p>07.16 第41回希望奨学生選考委員会</p> <p>07.21 参議院選挙投票日</p> <p>07.27 新高教第89回定期大会</p> <p>07.28 柏崎刈羽原発廃炉集会</p> <p>07.30 県退職者連合第27回年次大会</p> <p>08.28 教育をよくする県民会議総会・学習会</p> <p>09.07 新高教70周年記念事業実行委員会</p> <p>09.16 地公3単産・地公退高齢者集会 (東京)</p> <p>09.17 退職者連合高齢者集会 (東京)</p> <p>09.19 戦争法廃止・9条改憲NO!新潟大集会</p> <p>10.02 安倍9条改憲NO!全国市民アクション@
 新潟 学習会 (講師・うち越さくら)</p> <p>10.04 北陸ブロック囲碁大会 (富山市)</p> |
|---|--|